

科目名 Course Name	発達と老化の理解 I Development and Aging I			ナンバリング No.	J1-015		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	吉田 志保						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP2						
授業の概要と到達目標	<p>発達理論などの発達に関する内容を理解し、高齢者の加齢こともなう心身の状況の特徴に関する基礎的な知識の習得をはかる。</p> <p>①発達理論(発達段階、発達課題)について説明できるようにする。 ②高齢者の定義について説明できるようにする。 ③加齢こともなう身体的な機能の低下について、高齢者疑似体験を通して具体的に説明できるようにする。 ④高齢者の病気の特徴について知識を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	講義が中心だが、高齢者疑似体験の演習を通し、高齢者の心身を理解する手段とする。またディスカッションや発表などを取り入れ他者の意見を聞き、自身で考える授業とする。						
学習成果	L01						
	L02	加齢こともなう心身状況の変化などについて基本的事柄について説明できる。					
	L03	発達理論をもとに発達段階を表にまとめ、積極的に課題に取り組むことができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却、小テストは試験後に回答解説を行う。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第12巻「発達と老化の理解」中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	目的意識・課題意識を明確にし、グループワークなどにも積極的に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。やむを得ず欠席する場合は必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で評価する。授業の準備が整い、講義は集中して必要なことをノートに取り、疑問点は質問して解決できること。ディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。		10		
レポート/作品	第7回目にレポート課題を提示する。S 評価:自身の体験から、高齢者の不自由さに気づき、介護に対する留意点が具体的に示されている。			20	
発表					
小テスト	第6回目に小テストを実施する。人間の成長と発達の基礎的知識、人間の発達段階と発達課題、発達理論について理解できていること。		20		
試験	授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや語群からの選択問題、記述問題等。			50	
その他					
合計			30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスに沿って授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 発達と老化について学習内容を確認し、学ぶ意義を理解する。成長・発達の考え方
	事前・事後学習	発達と成長の違いを考え、ポイントを書き出す。
2	授業内容	人間の成長と発達の基礎的知識 成長・発達の原則、成長・発達に影響する要因
	事前・事後学習	テキストP7～P16を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。
3	授業内容	人間の発達段階と発達課題① 発達理論、発達段階と発達課題
	事前・事後学習	自身の母子手帳の成長のグラフとテキスト P29、30 のグラフを比べ、気づいた点を列挙する。
4	授業内容	人間の発達段階と発達課題② 身体的機能の成長と発達、心理的機能の発達、社会機能の発達
	事前・事後学習	自身の体重・身長を使い、カウプ指数、ローレル指数、BMIで評価する。
5	授業内容	人間の発達段階と発達課題③ 身体的な成長・発達、運動機能の発達、発達にともなう特徴的な疾病や障害
	事前・事後学習	小テストの範囲(第1回～第4回)の範囲の勉強。
6	授業内容	【小テスト 解答・解説】 人間の発達段階と発達課題④ 心理的機能の発達、社会的機能の発達
	事前・事後学習	テキストP47～P65を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。
7	授業内容	老年期の特徴と発達課題① 高齢者疑似体験 【演習】事例を通し、高齢者の心理を理解する (レポート 提出 第8回まで)
	事前・事後学習	高齢者疑似体験から学んだことをまとめる。
8	授業内容	【グループワーク】高齢者疑似体験、事例を通し、高齢者の心理を理解する 老年期の特徴と発達課題② 老年期の定義、老化とは
	事前・事後学習	保護者に老化を意識したことについて聞いて、ノートに記載する。
9	授業内容	老年期の特徴と発達課題③ 老年期の発達課題、人格と尊厳、老いの価値、喪失体験 セクシャリティ
	事前・事後学習	高齢者問題の記事を切り抜くかプリントアウトする。
10	授業内容	老年期の特徴と発達課題④ 老年期をめぐる今日的課題
	事前・事後学習	テキストP107 演習 3-2 を解く。
11	授業内容	老化にともなうところとからだの変化と生活① 老化にともなう生理的機能、身体的機能 の変化と生活への影響 (骨格系・筋系～感覚器系)
	事前・事後学習	テキストP141 1～13 番まで解く。
12	授業内容	老化にともなうところとからだの変化と生活② 老化にともなう生理的機能、身体的機能 の変化と生活への影響 (血液・循環器系～免疫系)
	事前・事後学習	テキストP141 14～30 番まで解く。
13	授業内容	老化にともなうところとからだの変化と生活③ 老化にともなう心理的な変化と生活への 影響 (認知機能の変化、知的機能の変化と心理的影響)
	事前・事後学習	テキストP163 記憶と知能の問題を解く。
14	授業内容	老化にともなうところとからだの変化と生活④ 老化にともなう心理的な変化と生活への 影響 (パーソナリティ、老化と動機づけ・適応)
	事前・事後学習	テキストP163 適応機制について、ノートに整理する。
15	授業内容	老化にともなうところとからだの変化と生活⑤ 老化にともなう社会機能の変化と日常生活への影響
	事前・事後学習	テキストP185 保護者などに聞き課題をノートに記載する。